

## 平成 28 年度 第 1 回 新宿区 消防団 運営委員会

開催日時	平成 29 年 1 月 20 日 (金) 14 時 00 分から 14 時 45 分まで
開催場所	新宿区本庁舎 5 階大会議室
諮問事項	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会に向けて、消防団活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか」
出席者	委員長 (敬称省略) 吉住 健一 (新宿区長) 委員 (敬称省略) 吉倉 正美 (都議会議員)、大山 とも子 (都議会議員)、秋田 一郎 (都議会議員)、平井 光雄 (新宿区危機管理担当部長)、木もと ひろゆき (区議会議員)、桑原 羊平 (区議会議員)、渡辺 清人 (区議会議員)、久保 広介 (区議会議員)、のづ ケン (区議会議員)、新藤 博 (四谷消防署長)、小川 弘行 (牛込消防署長)、湯浅 達也 (新宿消防署長)、加古 三稚 (四谷消防団長)、木本 幸雄 (牛込消防団長)、岩田 千明 (新宿消防団長)
欠席者	委員 (敬称省略) 大門 さちえ (都議会議員)、川村 のりあき (区議会議員)
傍聴者	0 名
配布資料	1 次第 2 資料 1 3 資料 1 - 1 4 資料 1 - 2 5 資料 2 6 資料 2 - 1 7 資料 3 8 参考資料 9 委員名簿
審議次第	1 開会 2 定足数の確認 3 報告 4 議題 5 閉会
審議内容	
事務局	<p>それでは、定刻となりましたので、これより平成 28 年度第 1 回新宿区消防団運営委員会をはじめさせていただきます。委員の皆さまには、本日はお寒い中、またお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。事務局として司会進行させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>まず、はじめに資料の確認をさせていただきます。と思います。</p> <p>(資料の確認)</p>

	<p>1 次第 A 4 縦 1 枚  2 資料 1 A 4 縦 1 枚  3 資料 1 - 1 A 4 縦カラー 2 枚  4 資料 1 - 2 A 4 縦両面 5 枚  5 資料 2 A 4 縦 1 枚  6 資料 2 - 1 A 4 横カラー 3 枚  7 資料 3 A 4 縦 1 枚  8 参考資料 A 4 縦カラー両面 1 枚、A 4 縦カラー両面 2 枚  9 委員名簿 A 4 縦 1 枚</p> <p>お手元の資料に落丁、不足等がございませんでしょうか。ないようでしたら、以後の議事進行におきましては、新宿区消防団運営委員会委員長にお願いします。委員長お願いします。</p>
委員長	<p>本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃から委員の皆様には防災行政をはじめ、区政全般にわたりまして、ご指導、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、平成 28 年 11 月 10 日付で東京都知事より「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか」について諮問がございました。本日は、平成 28 年度第 1 回消防団運営委員会を開催し、諮問事項について審議をお願いしたいと思います。限られた期間、回数の中でのご審議になりますことをあらかじめご理解いただき、消防団活動を通じて新宿区の安全・安心がさらに向上できる答申として取りまとめできますようにご協力をお願いします。</p> <p>また、東京消防庁からの依頼もあり、新宿区消防団運営委員会は公開とするほか、議事内容についても後日区ホームページ上に公開させていただきますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>それでは、お手元の「次第」にしたがい、進めさせていただきますので、委員の皆様には、活発なご検討をお願いいたします。</p> <p>それでは、事務局にて定足数の確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p>定足数の確認でございますが、本日、2 名がご都合により欠席されておりますが、定足数 18 名中 16 名の出席で委員会は成立しております。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から定足数の確認をいたしましたとおり、本日の新宿区消防団運営委員会は成立しております。</p> <p>議事に入る前に、今年度、委員の変更がございましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>特別区の消防団の設置等に関する条例第 5 条第 1 項第 1 号の委員として、本日欠席されておりますが、東京都議会議員の大門さちえ委員、新宿区危機管理担当部長の平井光雄委員。続きまして、同項第 3 号の委員として、四谷消防署長の新藤博委員、牛込消防署長の小川弘行委員。続きまし</p>

	<p>て、同項第4号の委員として、四谷消防団長の加古三稚委員。以上5名の方が、あらたに就任されました。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の「次第」に戻りまして、議事をすすめてまいります。</p> <p>前回の諮問事項「特別区消防団をさらに充実強化するための入団促進方策及び活動力強化方策について」に対する答申について、四谷消防署からご報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、お手元の資料1をご覧ください。</p> <p>前回の答申事項を報告させていただきます。</p> <p>東京都知事の諮問事項「特別区消防団をさらに充実強化するための入団促進方策及び活動力強化方策」について、昨年度、委員の皆様にご審議をいただき答申し、各区の答申内容を取りまとめられ対応方針が示されましたので報告させていただきます。</p> <p>お手元の資料1-1をご覧ください。</p> <p>諮問の趣旨については、消防団は地域の防災リーダーとして大きく期待されており、平成25年12月には消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が施行され、消防団は地域防災力の中核として欠くことのできない存在となっており、期待も高まっているところであります。</p> <p>特別区の消防団は様々な充実強化策を実施してきたところであり、消防団等充実強化法の趣旨を踏まえ、特別区消防団を着実に充実強化していくための具体的な方策について諮問がなされたものです。</p> <p>具体的な対応方針については、「消防団員の入団促進方策、消防団員の活動力の強化法則」の2つとなっております。各項目に赤い四角と黒い四角があり、赤いものは、新規事業として盛り込まれたもので、黒い四角は今までどおりのものをさらに拡充したものであります。下線が入っているものは新宿区の意見が採用されたものです。</p> <p>それでは、1 消防団員の入団促進方策から簡潔に説明をさせていただきます。</p> <p>(1)消防団員の更なる士気高揚について。消防団、消防団員に対する表彰については、一定の充足率を継続しております。活動が優秀な消防団員に対する表彰の拡充をしております。</p> <p>(2)消防団広報の充実について。電車への車体広告やトレインチャンネル等による広報の充実を図っており、1月15日の「消防団の日」に山手線等で実行されております。</p> <p>(3)消防団が活動しやすい多様な制度の構築について。個人の性格や能力に応じた活動を行う消防団員の入団者、例えば、IT技術を持っている方を入団させ、IT関連の広報媒体を活用した入団促進を図るなど、個人の能力に応じた団活動ができるように取組んだ制度の構築であります。</p> <p>(4)消防団に対する魅力の向上について。消防団員の意見交換を積極的に取り入れてまいります。</p> <p>(5)消防団協力事業所との協力体制の確保。消防団に協力的な事業所の広</p>

	<p>報の促進、積極的な広報を行ってまいります。</p> <p>次に、2 消防団員の活動力強化方策について説明をさせていただきます。</p> <p>(1) 装備資機材の充実について。各装備資器材、救命胴衣等の安全性や技能性を考慮した装備資器材の拡充を図ってまいります。</p> <p>(2) 訓練の充実について。消防団活動における資格の取得を積極的に推進してまいります。</p> <p>(3) 消防団相互の連携。東京 2020 大会における消防団相互の応援体制の構築を図っていきます。</p> <p>以上が前回答申事項の報告であります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。それではただ今の説明のございました前回答申につきまして、何かございましたらお願い致します。</p> <p>特段よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、ご了承いただいたということによろしいでしょうか。(異議なし。) はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、今年度諮問事項「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか」について、四谷消防署からご説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>お手元の、資料 2 をご覧ください。</p> <p>新宿区消防団運営委員会に、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて消防団消防活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか。」が諮問されました。</p> <p>諮問の趣旨につきましては、近年、各地で地震・水災等の大規模な自然災害が発生しており、東京においても直下地震等による大きな被害の発生が予測される中、「地域密着力」「要員動員力」「即時対応力」を兼ね備えている消防団に大きな期待が寄せられています。</p> <p>また、特別区消防団は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）の開催都市の消防団として大会の成功に向け、大会開催期間中の災害の未然防止と災害発生時における人的・物的被害を最小限にとどめるため、消防署隊と連携した警戒を実施する必要があります。</p> <p>このことから、東京 2020 大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策について諮問するものであります。</p> <p>審議期間・期日につきましては、平成 30 年 3 月 31 日までとなっております。お手元の資料 2-1 をご覧ください。</p> <p>「諮問事項に対する検討の方向性について」をご覧ください。</p> <p>I 諮問事項については、先に説明したとおりです。</p> <p>II の検討の方向性として、1、東京 2020 大会における主な課題や状況をあげております。2、消防団の活動能力を強化する方策をあげており</p>

ます。

(1)東京オリンピックは、夏場の時期に開催されます。期間は、7月22日から9月3日までとなり、熱中症等により多数の傷者が発生することが予想されますので、熱中症等の対策を講じていく必要があります。

(2)各種競技会場は新宿区に建設される国立競技場をはじめ特別区の6つの競場周辺で広範囲で実施される。このことから一定期間に多数の警戒要員が必要になることから、情報の収集と共有が必要になるかと思えます。

(3)国際的共通イベントで国内外からの多数の来訪者が予想されます。こういったことから消防団として活動するうえで外国語などのコミュニケーション能力が必要になると予想されます。

(4)特別区消防団は大会期間中、各種災害の未然防止や災害発生を最小限にとどめるために、全消防団をあげ、応援による警戒活動を実施する必要があります。このことから、災害予防知識、および災害活動能力の向上が必要であるとともに地域の消防団員が多数警戒に従事する可能性があります。

(5)新国立競技場において開催式を行い、多数の競技場で競技が実施されます。また、周辺繁華街等の警戒を長期間実施されることが予想されることから、新宿区外の消防団員に対し応援依頼をしなければならないことから、消防団員の指揮能力向上が求められてきます。

次に、2、活動能力を強化する方策として骨子として、3点あげてみました。

(1)警戒に伴う装備資機材について。資料のとおり、新規整備また今あるものをさらに増強させていくこととします。

(2)警戒に向けた教育訓練について。教育訓練・資格講習・教育訓練用資機材・その他教育訓練に必要な内容及び資機材についての検討が必要であると思えます。

(3)各消防団の情勢に対応した検討事項。新宿区の特別な状況も考えられますので、四谷・牛込・新宿消防団を一つの消防団としてとらえてもよろしいのかもしれないということを検討していけば良いのだと思えます。

次に、具体的な対応策について。(1)警戒に伴う装備・資器材。①夏季の警戒に伴う熱中症予防対策。冷却用ベスト・ヘルメットなど体を冷やすものを用意しようと思えます。②広範囲な警戒時に必要となる装備資器材。現在消防団に積載されているMCA無線の増強が必要だと思えます。③様々な情報媒体による情報収集用資器材。位置情報を含めたものがあるもの、例えば携帯用タブレット等を想定しております。④発生した傷病者に対応した各種資器材について。熱中症患者の傷病者に対応する冷却用資器材。AED等またテロ災害を想定した装備、資器材の配置も検討していかなければなりません。⑤発生した火災に対応した装備資器材について。携帯型消火資器材例えば、背負うタイプの空気の圧力で強力に消火するよ

	<p>うな資器材もございます。⑥多数の来日した外国人に対応した装備、資器材について。通訳ソフトや、消防・救急の案内パネルの用意が考えられます。⑦その他必要な資器材について。警戒団員用の休息テント・夜間警戒用の照明装置・車いす等の配置・機動力を生かした自転車隊の編成・警戒人員の輸送、車の配置等が考えられます。</p> <p>(2)警戒に向けた教育訓練について。①消防署隊と連携した警戒、災害対応。テロ災害にかかる多数傷病者発生時の対応訓練・避難誘導訓練・安全管理教養の実施が必要と考えられます。②他の消防団との連携や災害対応を想定した教育訓練について。他の消防団と連携した各種指揮統制訓練を実施してまいります。③発生した傷病者に対応する応急救護能力の向上を目的とした教育訓練。イメージとしては上級救命講習修了による救護能力の向上・及び熱中症対策・テロ災害にかかる危機管理能力等の教育訓練を実施してまいります。④緊急走行訓練・無線運用訓練の実施。消防団の方で、無線取扱い要領が苦手との声が多いので無線運用訓練が必要だと思います。⑤その他必要な教育訓練。管内の消防水利、対象物等の更なる把握が必要となります。</p> <p>(3)各消防団の情勢に対応した検討事項。①まだどのような体制で警戒が行われるか、どのように管内道路が閉鎖されるのかということはありませんが、今後も区役所等関係部署との連絡を密にしていけば良いのかと思います。②テロ対応強化。新国立競技場以外にも、新宿区内の繁華街等他の地域でもテロ発生時の避難誘導計画を策定する必要があります。③テロ災害の知識ということでNBC等の化学災害、テロ発生後の火災対応等消防団の後方支援活動訓練が必要だと思われます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、ただいまのご説明つきまして、ご意見ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>特によろしいですか。</p> <p>それでは、委員お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今ご説明頂いて、まだはっきりわからない部分も多いと思いますが、今回の諮問に対して私たちが検討する上で、今わかっている部分でお答え頂ければと思いますが、まず警戒について、私もこれまで消防団に入っていますので、東京マラソンなどがあれば、自分の分団の担当地域で警戒をしていたのですが、今回のオリンピック・パラリンピックの場合は、まず前提として新宿区だけで、または自分の分団だけで警戒ということではなくて、ひとつの競技に対して各消防団から派遣するようなイメージをされているのか伺いたいのですが。</p>
<p>事務局</p>	<p>消防署自体もまだ具体的にどのような警戒を行うかまだ明確になっておらず、今回の警戒につきまして、東京消防庁からも細かい所は出ていませんが、検討の方向性としては、大会期間中は全消防団をあげてオリンピックの警戒を進めるということ、また新宿区の3団以外からも、直接オリ</p>

	ンピック会場がないような区域の消防団の皆様も応援にくるというようなことも予想されます。
委 員	外部から来るのはわかりました。例えば新宿区内の消防団でいいますと、他区に行く可能性もあり、これから色々な資機材の検討もしていくと思いますが、まだ不透明な状況だという理解でよろしいですか。
事 務 局	その通りです。
委 員	ありがとうございます。 今はまだわからないかも知れませんが、期間中、開会式やサッカーなど東京で行われる全競技に対して消防団への要請がありそうだという前提で、これから色々検討していけばいいのでしょうか。
事 務 局	その通りです。
委 員 長	そのほか何かご意見・ご質問はございますか。それでは今日は説明を縷々淡々と説明をさせて頂きましたが、あと2回審議の予定がありますので、その中でまた具体的なご意見がございましたらお願いしたいと思います。このあと審議日程や他にも資料が出ているようですので、その点につきまして説明をお願いします。
事 務 局	審議日程につきましては、平成30年3月まで、2回審議を開催し、新宿区としての答申を示してまいりたいと思います。 また、資料としまして、特別区消防団の主な装備資器材関係となりますのでご確認をお願いします。
委 員 長	ありがとうございます。ただ今の説明を含めまして、今日一日の中で何かご意見ご質問がございましたら、お願いいたします。 特に無いようでしたら、本日の予定しておりました議事については、全て終了となります。円滑な議事進行にご協力を頂きましてありがとうございました。 以後の進行を事務局にお返しします。
事 務 局	委員長ありがとうございました。 次回の日程につきましては、先程、説明した通りでございます。 日時が決まり次第、事務局の方から委員の皆さま方にはご案内をさせていただきます。よろしく申し上げます。 また、本日の議事内容については、議事録を作成後、郵送いたしますので、ご確認をお願いします。概ね1か月ぐらいを目途に区ホームページに掲載したいと考えております。よろしく申し上げます。 それでは、以上をもちまして平成28年度第1回新宿区消防団運営委員会を閉会致します。 本日は誠に有難うございました。